



## 2026年版東洋経済CSR評価項目一覧

項目名・評価得点・ポイント

### ■人材活用

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	女性従業員比率		○	2		比率が高いほうが高得点。平均値は■%。
2	男女別賃金		○	2		回答があれば得点あり。
3	世代別女性従業員数			2		各世代の女性従業員数の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
4	離職者状況			2		回答があれば得点あり。
5	年間総労働時間の開示			2		回答があれば得点あり。
6	残業時間・残業手当			3		回答があれば得点あり。残業時間は少ないほうが高得点。
7	残業時間削減の取り組み			3		取り組み状況は回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な事例の回答があれば加点。
8	30歳平均賃金			3		回答があれば得点あり。一定金額以上で加点。29万円以上が目安。33万円以上が最高得点。
9	外国人管理職の有無		○	2		一定人数以上の回答があれば得点あり。
10	女性管理職比率		○	2		比率が高いほうが高得点。平均値は■%。
11	女性部長比率		○	2		比率が高いほうが高得点。平均値は■%。
12	女性役員比率		○	2		比率が高いほうが高得点。平均値は■%。
13	ダイバーシティ推進の基本理念			1		妥当な内容の回答があれば得点あり。
14	多様な人材登用部署		○	2		「有」「設置予定」のほうが高得点。
15	多様な管理職登用(比率)の目標値			1		妥当な目標値の回答があれば得点あり。
16	障害者雇用率(実績)		○	4		比率が高いほうが高得点。法定雇用率2.5%の場合は2点。
17	障害者雇用率の目標値		○	1		妥当な目標値の回答があれば得点あり。
18	定年後の就業機会			3		「定年後の就業機会」の回答状況を積み上げて得点化し、加点。上限あり。
19	正社員の定年年齢			2		「60歳超」で得点あり。「65歳以上」「(定年年齢)無」の得点が最も高い。
20	LGBTへの対応			2		「LGBTに対する基本方針」は回答があれば得点あり。「LGBTへの取り組み」の回答状況で加点。
21	有給休暇取得率(最新年度)		○	5		比率が高いほうが高得点。90%以上が最高得点。平均値は■%。
22	産休期間			2		法定以上のほうが高得点。
23	産休取得者			2		3年間の人数と回答状況を評価している。
24	育児休業取得者			2		3年間の人数と回答状況を評価している。
25	男性の育児休業取得者数・取得率			5		取得者数は3年間の人数を評価している。取得率は直近2年間の数値と回答状況(1週間以内を含む)で評価している。50%以上が目安。比率が高いほうが高得点。

26	配偶者の出産休暇制度		1		「有」で得点あり。
27	介護休業取得者		3		3年間の人数と回答状況を評価している。
28	看護等休暇・介護休暇		3		法定以上のほうが高得点。回答状況も評価している。
29	退職した従業員の再雇用制度		2		「有」のほうが高得点。転職退職者の再雇用制度も評価している。「制度有・実績有」のほうが高得点。
30	ユニークな両立支援制度		2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
31	勤務形態の柔軟化に関する諸制度		5		各制度の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
32	テレワークの導入		1		「導入している」で得点あり。
33	副業・兼業		1		「認めている」で得点あり。
34	ハラスメント防止		1		「行っている」で得点あり。
35	従業員のインセンティブを高めるための諸制度		5		各制度の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
36	労働安全衛生マネジメントシステム		2		「有」のほうが高得点。
37	労働安全衛生分野の表彰歴		2		妥当な表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で事例の回答があるほうが高得点。
38	労働災害度数率		1		一定比率以下(直近2年間)で得点あり。
39	メンタルヘルス休職者数		2		回答があれば得点あり(直近2年間)。2年以上の回答で加点。数値は評価していない。
40	人権尊重等の方針		2		「有」のほうが高得点。
41	人権尊重等の取り組み		2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
42	中核的労働基準を尊重した経営		2		「尊重している」のほうが高得点。
43	人権デューデリジェンスの取り組み		1		「行っている」で得点あり。
44	能力・評価結果の本人への公開		2		「従業員本人に公開」のほうが高得点。
45	従業員の評価基準		2		「公開」のほうが高得点。評価反映項目の回答があれば加点。
46	1人当たり年間教育研修費用・時間		4		回答があれば得点あり。一定金額・時間以上で加点。平均値はそれぞれ約■万円・約■時間。
47	従業員のエンゲージメント・満足度調査		2		「行っている」のほうが高得点。
48	キャリア形成支援		3		「キャリアパス・キャリアマップ」、「キャリア研修(50歳以上対象含む)」、「キャリア相談」の3項目の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
49	新卒入社者の3年後定着度	○	4		新卒3年後定着率が高いほうが高得点。75%以上が目安。95%以上が最高得点。
50	発生した労働問題の開示		1		妥当な事例の回答があれば得点あり。

## ■環境

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	環境担当部署の有無			2		「専任」の得点が最も高い。
2	環境担当役員の有無			2		「専任有」の得点が最も高い。
3	環境担当役員の担当職域			2		「100%」のほうが高得点。
4	環境方針の文書化の有無			2		「有」のほうが高得点。
5	環境会計あるいはそれに準ずるもの有無			1		「有」で得点あり。
6	環境会計あるいはそれに準ずるものにおける費用と効果の把握状況			2		「環境省ガイドラインに準拠して把握」「自社独自・業界独自方法で把握」は同じ得点。
7	環境データにおける第三者検証・保証	●		1		「有」で得点あり。
8	環境データ・環境会計データ等の開示(パフォーマンスの開示状況)			4		各項目の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
9	環境監査の実施状況			3		回答があれば得点あり。実施しているほうが高得点。
10	EMS(ISO14001等)の構築状況			3		「ISO14001認証取得」「自社独自のESM構築」は同じ得点。
11	EMS(ISO14001等)の取得割合(国内・海外)			4		国内・海外の数値状況を評価。取得割合が高いほうが高得点。30%以上が目安。ISO14001以外でも同等と考えるEMSにおける取得(把握)割合は評価対象。
12	グリーン購入体制			2		「GPNガイドラインにのっとって実施」「自社独自指針にのっとって実施」は同じ得点。
13	事務用品等のグリーン購入比率			3		比率が高いほうが高得点。80%以上が目安。
14	原材料のグリーン調達			3		実施しているほうが高得点。
15	原材料調達の取引先対応			2		回答があれば得点あり。
16	環境ラベリング			3		実施しているほうが高得点。
17	土壤・地下水の汚染状況把握			2		回答があれば得点あり。「把握・公開」のほうが高得点。
18	水問題の認識			1		回答があれば得点あり。
19	環境関連法令違反の有無			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
20	環境問題を引き起こす事故・汚染の有無			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
21	環境問題に関する苦情の有無			2		回答があれば得点あり。
22	環境分野・CO <sub>2</sub> 排出量等削減に関する中期計画の有無			5		「有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
23	スコープ3	○		3		「集計している」で得点あり。数値・算定対象カテゴリーに回答があれば加点。
24	炭素利益率(ROC)			2		直近年度の温室効果ガス排出量、またはスコープ1+2の回答があれば得点あり。
25	温室効果ガス(スコープ1+2)排出量削減	○		3		2年連続で回答があれば得点。スコープ1+2の前年比削減率が一定以上で加点。
26	廃棄物等総排出量削減			2		2年連続で回答があれば得点。廃棄物等総排出量の前年比削減率が一定以上で加点。
27	2024年度の環境目標・実績			4		各テーマの目標・実績の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
28	気候変動対応の取り組み	○		2		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。
29	気候変動に関するシナリオ分析			2		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。

30	再生可能エネルギーの利用	○	3		「行っている」で得点あり。直近年度の利用率が一定以上で加点。平均値は■%。
31	カーボンプライシングの認識		1		回答があれば得点あり。
32	環境関連の表彰歴		2		妥当な表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で事例の回答があるほうが高得点。
33	環境ビジネスの取り組み		3		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な事例の回答があれば加点。
34	プラスチック削減の取り組み		3		「行っている」のほうが高得点。妥当な事例の回答があれば加点。
35	事業活動による生物多様性への影響の把握		2		回答があれば得点あり。「把握している」のほうが高得点。
36	生物多様性保全に関する取り組み		3		妥当な事例の回答があれば得点。
37	生物多様性保全プロジェクトへの支出額		5		直近2年間の支出額と回答状況で評価している。支出額は売上規模ごと(3段階)に評価。高いほうが高得点。
<b>基礎得点 満点</b>		<b>95</b>			

## ■企業統治

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念			2		回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
2	CSR活動のマテリアリティ設定			3		回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
3	ステークホルダー・エンゲージメント			3		回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。妥当な事例の回答があれば加点。
4	活動報告媒体における第三者の関与		○	2		回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
5	英文での活動報告		○	2		回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
6	CSR担当部署の有無		○	2		「専任」の得点が最も高い。
7	CSR担当役員の有無			2		「専任有」の得点が最も高い。
8	CSR担当役員の担当職域			2		「100%」のほうが高得点。
9	CSR方針の文書化の有無			2		「有」のほうが高得点。
10	IR担当部署			2		「専任」のほうが高得点。
11	法令順守関連部署			2		「専任」のほうが高得点。
12	国内外のCSR等関連基準への参加等			3		各基準の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。全基準中3分の1以下の回答でも満点。
13	内部監査部門の有無			2		「有」のほうが高得点。
14	内部通報窓口(社内・社外)設置			3		回答があれば得点あり。「設置済み」のほうが高得点。
15	内部通報者の権利保護に関する規定制定			3		「制定済み」のほうが高得点。
16	内部通報件数			5		直近2年間の数値と回答状況で評価。回答があれば得点あり。2年連続で回答があるほうが高得点。数値状況によって加点。「実効性向上への取り組み」に妥当な内容の回答があれば加点。
17	公正取引委員会からの排除措置命令等・他			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
18	不祥事等による操業・営業停止			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
19	コンプライアンスにかかわる事件・事故による刑事告発			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
20	海外での価格カルテルによる摘発			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
21	海外での贈賄による摘発			3		該当がないほうが高得点。未回答は得点なし。
22	汚職・贈収賄防止の方針			3		回答があれば得点あり。「方針有」のほうが高得点。妥当な内容の回答があれば加点。
23	政治献金等の開示			3		3年間の回答状況を評価している。3年連続での回答が得点が最も高い。
24	内部統制の評価			3		「有効」の得点が最も高い。未上場企業は一定得点。
25	相談役・顧問制度の状況についての開示			1		回答があれば得点あり。
26	社外取締役による経営者評価			2		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。
27	任意を含む指名・報酬委員会等の設置			2		回答があれば得点あり。「設置している」のほうが高得点。
28	ESG等関連指標の役員報酬への反映			2		「反映している」で得点あり。

29	情報システムに関するセキュリティポリシーの有無		2		「策定済み」で得点あり。
30	情報システムのセキュリティに関する内部監査の状況		2		「定期的」のほうが高得点。
31	情報システムのセキュリティに関する外部監査の状況		2		「定期的」のほうが高得点。
32	情報セキュリティに関する教育・社内浸透の取り組み		1		妥当な事例の回答があれば得点。
33	プライバシー・ポリシーの有無		1		「制定済み」で得点あり。
34	リスクマネジメント・クライスマネジメントの体制		2		「有」のほうが高得点。
35	リスクマネジメント・クライスマネジメントに関する基本方針		2		「有」のほうが高得点。
36	リスクマネジメント・クライスマネジメントに関する対応マニュアルの有無		3		「有」のほうが高得点。
37	リスクマネジメント・クライスマネジメント体制の責任者		2		「社長等会社の代表者」「代表者に準ずる取締役」の得点が最も高い。
38	BCM構築		2		「有」のほうが高得点。
39	BCP策定・想定		3		「BCP策定」が「有」のほうが高得点。「BCP想定」に回答があれば加点。
40	リスクマネジメント・クライスマネジメントの取り組み状況		2		妥当な内容の回答があれば得点あり。
41	企業倫理方針の文書化・公開		3		「文書化・公開」のほうが高得点。
42	倫理行動規定・規範・マニュアルの有無		2		「有」のほうが高得点。
		基礎得点 満点	100		

## ■社会性

No	評価項目	新規	基本	得点	平均点	ポイント
1	消費者・取引先対応部署の有無			2		「専任」のほうが高得点。
2	社会貢献担当部署の有無			2		「専任」のほうが高得点。
3	商品・サービスの安全性・安全体制に関する部署の有無			2		「専任」のほうが高得点。
4	社会貢献活動支出額			6		3年間の合計支出額を売上規模ごと(4段階)に評価。高いほうが高得点。
5	NPO・NGO等との連携		○	4		「有」のほうが高得点。妥当な連携先・事例の回答があれば加点。
6	ESG情報の開示			3		回答があれば得点あり。「開示している」のほうが高得点。
7	投資家・ESG調査機関等との対話			2		「行っている」のほうが高得点。
8	消費者・取引先からのクレーム等への対応マニュアルの有無			2		「有」のほうが高得点。
9	消費者・取引先からのクレームのデータベースの有無			2		「有」のほうが高得点。
10	QMS(ISO9000S等)の構築状況・取得割合(国内・海外)			6		「ISO9000S認証取得」「自社独自のQSM構築」は同じ得点。さらに国内・海外の数値状況を評価。取得割合が高いほうが高得点。30%以上が目安。ISO9000S以外でも同等と考えるQMSにおける取得(把握)割合は評価対象。
11	地域社会参加活動実績		○	2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
12	教育・学術支援活動実績			2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
13	文化・芸術・スポーツ活動実績			2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
14	国際交流活動実績			2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
15	サステナブル調達の実施		○	5		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。「対応している課題・リスク」、「調達方針、労働方針、監査方針等の基準」、「サステナブル調達に関する調達先監査・評価」の回答状況で加点。
16	サステナブル調達の取り組み事例			2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
17	取引先に対する基本方針			2		回答があれば得点あり。「有」のほうが高得点。
18	紛争鉱物の対応			2		回答があれば得点あり。「対応」のほうが高得点。
19	SDGsの目標への意識			2		「SDGs」に回答があれば得点あり。「参考にしている」のほうが高得点。
20	SDGsの目標達成基準			2		「SDGsの達成基準」が「有」で得点あり。「今後のSDGs」に妥当な事例の回答があれば加点。
21	SDGs17の目標対応状況			3		「SDGsの対応」の回答状況を積み上げて得点化。上限あり。
22	社会課題解決ビジネスの取り組み			3		「CSVの取り組み」が「行っている」で得点あり。妥当な事例の回答があれば加点。
23	海外での社会課題解決の活動			2		妥当な事例の回答があれば得点あり。
24	事業・社会課題解決の取り組み等によるインパクトの測定	●		1		「行っている」で得点あり。
25	ボランティア参加・休暇			5		ボランティア参加は直近年度に参加実績があれば得点あり。同休暇は制度「有」で得点あり。取得者数の回答があれば加点。3年間の合計取得者数が多いほうが高得点。

26	ボランティア休職・青年海外協力隊参加			4		制度「有」で得点あり。取得者数の回答があれば加点。取得者数が多いほうが高得点。
27	マッチング・ギフト			1		「有」で得点あり。
28	ボランティア休暇制度等の従業員への周知			3		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な事例の回答があれば加点。
29	従業員向けの社会課題解決への関心を高める取り組み			3		回答があれば得点あり。「行っている」のほうが高得点。妥当な事例の回答があれば加点。
30	プロボノ支援			4		「行っている」のほうが高得点。「従業員が行うプロボノ活動の支援」の回答状況で加点。
31	CSR関連の表彰歴			2		妥当な表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で事例の回答があるほうが高得点。
32	自然災害・パンデミック等への支援			4		「自然災害等への支援(取り組み内容・事例含む)」、「東日本大震災復興支援」の回答状況を積み上げて得点化。「行っている」のほうが高得点。上限あり。
		基礎得点 満点	89			